

事例8 第3学年 内容項目 D：感動、畏敬の念

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| ・ 共通体験を取り上げ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る導入 | ・ 教材を生かす補助発問 |
| ・ 付箋を活用した少人数での話し合い | ・ 自分を見つめ、振り返る活動（書く活動） |

1 主題名 神秘の世界へ

2 ねらい 未知の宇宙空間で作者が感じた「生命観」を話し合うことを通して、地球の美しさや神秘的な生命の尊さという人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとする心情を育てる。

教材名 「ハッチを開けて、知らない世界へ」（「新しい道徳3」東京書籍）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、内容項目「美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。」に関するものである。

「畏敬」とは、「畏れる」という意味での畏怖という面と、「敬う」という意味での尊敬、尊重という面が含まれている。人間としての自己の在り方を深く探求するとき、人間は様々な意味で有限なものであり、自然の中で生かされていることを自覚することができる。この自覚と共に、人間の力を超えたものを素直に感じ取る心が深まり、これに対する畏敬の念が芽生えてくるのである。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

これまでに中学1、2年生の道徳の時間をはじめ、林間学校や音楽教室などを通して、美しい自然や美術、芸術に触れる機会を設けてきた。その中で生徒たちは、感受性や美的な情操を豊かにしてきた。

素直でまじめな生徒が多い反面、自分の気持ちを表現して他者に伝える力はまだまだ育てていきたい課題である。事前に行った総合的な学習の時間などにおける体験活動では「家族旅行した際の星空」や「山頂で初日の出を見たとき」など、自然の偉大さについて考えることができていた生徒もいることが分かった。

これらの体験を踏まえ、本時では、人間と自然、自然の美しさと壮大さを多面的・多角的に捉えさせ、生命の尊さの内容と関連させながら畏敬の念について深く考えさせていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、宇宙飛行士の野口聡一さんが宇宙空間で船外活動を行ったときの感動を綴った作品である。宇宙に行きたいという夢を実現させた野口さんが体験したのは、それまでに感じたことのない静けさであった。空気も音もなく、命もない場所で、野口さんは、自分と地球の命を強く感じる。「宇宙」と「生命」を通して、自分自身が体験したことを考えさせ、自分の中にある人智を超えた存在への畏敬の念に気付かせていきたい。

野口さんの感動を通して、神秘的な大宇宙の中に存在する自分の存在を考えることで、自他の生命への尊敬の気持ちや感謝の気持ち、そして生命の神秘、人間の力を超越した巨大な一つの生命体としての地球への畏敬の念を感じさせ、深めていきたい。

主に次のことを基に話し合うこととする。

①野口さんが地球を美しいと感じた理由

野口さんの視点を通して、単純な地球の美しさのみならず、広大な宇宙空間に佇む地球の孤独さや生命感について共感し、考えを深めていく。


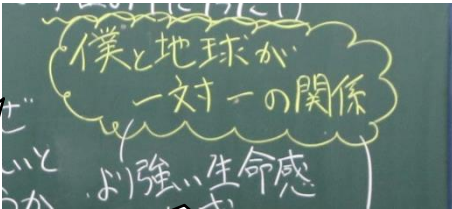
②宇宙で抱いた野口さんの感想

「宇宙」「地球」「人間」という3つのそれぞれの視点から考えていく。宇宙の広大さや地球の神秘性、そして生命感を感じながら、人間と地球を一对一の存在として捉える野口さんの思いに迫っていく。

さらに、野口さんの体験から、生徒自身の体験へと自分のこれまでの生活を振り返る中で、体感したからこそ感じる事ができた自然や生命への神秘性や偉大さ、そして畏敬の念が自分の中にあつたことを気付かせたい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入	<p>1 昨年の林間学校のハイキングの写真を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川岳の美しい山々を思い出した。 ・一の倉沢の絶景と川の冷たさを覚えている。 ・5月なのにまだ雪が積もっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通体験を取り上げ、本時のねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>共通体験を取り上げ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る導入</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>T：この景色を覚えていますか。</p> <p>S：一の倉沢のハイキングは大変だったけど、この景色は感動しました。</p> <p>S：カーブを曲がって絶壁が見えると、自然の凄さを感じました。</p> <p>S：もう5月だったのに、まだ川の水が凄く冷たくてびっくりした。</p> <p>T：自然が「凄い」と言ってくれたけれど、その「凄い」には色々な意味がありそうですね。みなさんは自然に凄さや美しさを感じたようですが、今日は、その凄さや美しさ、神秘性をもっと深く考えていきましょう。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>2年生の時の林間学校での谷川岳・一の倉沢の景色</p> </div> </div>			
展開	<p>2 教材「ハッチを開けて、知らない世界へ」を読み、話し合う。</p> <p>(1)野口さんはなぜ、地球を美しいと思ったのだろうか。</p> <p>(補助発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野口さんが感じた生命感とはどのようなものなのだろうか。 ・「僕と地球が一对一の存在」とはどういう意味なのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球を外側から見た景色は想像以上の美しさだったから。 ・自分が生まれた地球を見て、感動したから。 ・広大な宇宙にぼっかり浮かんでいる地球の存在感。 ・地球上で多くの命が生きていると同時に、地球自身も一つの生命体である。宇宙空間で自分と地球は一つ一つの命であるということ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野口さんの視点を通して、地球の雄大さや壮大さ、孤独さを感じさせる。 ・単に「生きている」という端的な考えだけでなく、「宇宙」という虚空の中にあるたった一つの命という視点に至るように切り返しなどの工夫を行う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教材を生かす補助発問</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>概念としてわかってはいたけれど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球をより強く「1つの生命」と感じる ・広大な宇宙で人間と地球が一对一の関係になれる。 <p>・単純な美しさではない、生命感を感じる美しさ。唯一無二の感覚。 ⇒地球（自然）への敬意、神秘性や闇が支配する宇宙への怖さ、畏れ。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>			

(2)野口さんは宇宙に行っ
 どのようなことを感じた
 のだろうか。「宇宙」「人
 間」「地球」の三つの視点
 について、考えて、互いを
 比べてみよう。(中心発
 問)

- 地球は生命が生きていける星だと思っていただけ、地球自体が活着ている。
- 広大な宇宙にぽっかり浮かんでいる地球がとてもいとおしく感じている。
- 人間も地球も一つの命として、輝いていけるものだ。
- 地球の大きさと大切さを感じている。
- 宇宙の中で人間が生きることができるのは地球だけ。空気のない宇宙空間での静かさや孤独がある。

- それぞれの視点について自分の考えを付箋に書いて模造紙に貼らせる。
 - 多くの意見に触れさせるため他の班の模造紙の内容も見せて回らせる。
 - 他者の発表内容について、共感することや、自分にはなかった新たな視点を見つけることを通して、他者理解につなげていくとともに、自己理解について深めていけるように指導する。
- ☆「宇宙」「地球」「人間」のそれぞれの視点から生命の尊さや人智を超えた神秘的な存在について多面的・多角的に考えている。(付箋・発言)

付箋を活用した少人数での話し合い

(ある小グループ内の会話)

- S 1 : 地球以外で人間は生きられないし、地球と人間だけの世界なんて孤独だね。
- S 2 : それに、宇宙空間では人間は宇宙服が無いと生きていくことすらできない。
- S 3 : 人間なんて地球に比べたら小さいね。
- S 2 : でも、地球も人間も一つの命には変わらない。
- S 3 : うん。この宇宙で地球しかこんなに生命がいる星はないんだよね。
- S 1 : 自分でも地球の外から地球を眺めてみたらどのように感じるのだろう。
- S 4 : 他の星から地球を見たら、どんな感じに見えるのだろう。何だか不思議な気持ち。
- S 2 : 宇宙にはまだわからないことがたくさんあるよね。

小グループのメリット

- 誰もが発言しやすく主体的に参加できる。
- より親身に聞く姿勢を作りやすい。他者理解の効果が期待できる。
- 自分だけは思いつかない新たな気づきを得ることができる。



三つの視点について付箋をつけてまとめることにより自分の中の多面的・多角的に見ることができる。また、他者の視点から新たな視点や考え方の気づきを得ることができる。



3 自分を見つめる。
 ・自分が今までに経験した自然の大きさや美しさ、または怖さについて思い出し、書いてみよう。

- ・林間学校で一の倉沢の絶景を見たときの感動を覚えている。
- ・田舎の空で満点の星空を見たとき、自分の小ささを感じた。
- ・田舎の祖母の家にいるとき、大雨が降って普段の山の景色が一変した。被害はなかったけれど、土砂崩れもあって、怖かった。

- ・社会科（地理的分野）の日本の自然災害、理科における自然災害の学習など関連する内容項目についても留意する。
- ☆自分の体験を基にして、神秘的な生命の尊さに対する畏敬の念をについて考えを深めている。（ノート・発言）

自分を見つめ、振り返る活動（書く活動）

（生徒の授業ノートより抜粋） ※下線部は本時のねらいの気づきがわかる表現

「初めて富士山の山頂から初日の出を見たと、とてもきれいだった。そして、きれいだけでなく、太陽の光の暖かさを感じて、陽の光のあたたかさとありがたさを感じた。」

ある夏の日私はサーフィンをする為に海へ行った。空は快晴。広大な海。冷たい海水にとっても暖かい日差し。良好な環境であり楽しむことができた。しかし、高い波に吞み込まれた時、恐怖を感じた。この経験で私はある事に気づいた。それは、自然というものはとても危険だということ。そして、その中には自然が生み出す魅力という名の美しさがあるということ。

終末

4 野口さんのメッセージを聞き、授業を通して学んだことを発表する。

メッセージの概要

- ・宇宙に漂う地球の圧倒的な存在感
- ・知識としてではなく、実感として地球が生命の輝きに満ちた天体であることを感じた。

- ・地球に生まれ、育ったことは不思議だな。
- ・地球外では生きられない孤独がある。
- ・地球のあたたかさ、偉大さを感じる。
- ・自分の命の神秘性を感じた。
- ・人間は地球があるからこそ、音も光も温かさも感じることができる。
- ・今までの生活の中でも、自然の偉大さや壮大さを感じるがあった。

- ・メッセージを聞かせ、自然や人間を超越した存在への感動した経験や大きさや偉大さを感じたことが、畏敬の念につながっていくことに気付かせる。
- ・野口さんのメッセージを聞かせることで、生徒自身がさらに自己を見つめることができるようにする。

本時の板書



5 他の教育活動との関連

事前指導	2年時の学年全体の共通体験の振り返り
理科	単元「宇宙と地球」「地球の運動と天体の動き」 銀河系や太陽系、地球と太陽の関係など
社会科	地理的分野「世界の諸地域」「日本の諸地域」など
総合的な学習の時間	ボランティア活動（小中連携事業におけるフラワーボランティア）
技術科	生物の育成と育成技術
道徳科	教材「ハッチを開けて知らない世界へ」 未知の宇宙空間で作者が感じた「生命観」を話し合うことを通して、地球の美しさや神秘的な生命の尊さという人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
事後指導	学級通信での生徒の感想の掲載で、他者理解、内容理解、そして自己理解を深める。また、学級内の道徳コーナーでの本時の振り返りの掲示物作成。
家庭との連携	学級通信で生徒の感想を掲載することや面談時に取組状況について情報共有を行う。

6 評価の視点

【物事を多角的・多面的に考えている様子】

- ・生命の尊さや人智を超えた神秘的な存在について多面的・多角的に考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりの中で深めている様子】

- ・自分の中にある神秘的な生命の尊さに対する畏敬の念について考えを深めている。

7 考察

(1) 道徳科の目標に示された学習活動

①多面的・多角的に考える学習について

野口さんの体験を基に、「宇宙」「地球」「人間」という三つの視点から自然や宇宙といった人間の力を超えたものに対する畏敬の念について考えた。虚空の宇宙空間に一对一で対峙する野口さんと地球という状況を理解する中で、宇宙の神秘性や生命の不思議さ、今ここに存在している奇跡等、様々な考えをもつことができた。また、小グループでの話し合いを取り入れたことにより、意見の交流がしやすくなり、互いの考えを共有することができた。

②自分との関わりで考える学習について

自分の生活を振り返る中で、経験したことやその時に感じたこと、考えたことを素直に表現することができた。また、野口さんのメッセージを聞きながら自己を見つめる中で、その時に感じたことを改めて確認し、その神秘性を理解できた生徒もいた。

(2) 視点☆に基づく本時の評価

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・「宇宙」「地球」「人間」のそれぞれの視点から生命の尊さや人智を超えた神秘的な存在について多面的・多角的に考えている。

小グループの中で三つの視点それぞれについて付箋を使い、互いの考えを伝え合う活動を通して、自分自身が今まで気付かなかった視点を見つけることができた。また、その後のグループ移動の最中に新たな違った考えを見つけることができた生徒もいた。多様な考えに接する（他者理解）ことを通して、ねらいとする道徳的価値についての理解（価値理解）や自分自身についての理解（自己理解）を深めることができた。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分の体験を基にして、神秘的な生命の尊さに対する畏敬の念をについて考えを深めている。

今までの自分自身の体験を見つめ直す中で「あの時感じた気持ちはこういう意味だったのだ。」と理解した生徒も多かった。生徒の授業ノートに「今までただ凄いなということしか考えていなかったが、この授業を通して、凄さの中には、美しさや恐怖、人間の力では表現できないもの、再現できないものがあるということが分かった。」などと記述する生徒がいた。今後も、既に当たり前のことと感じているであろう学習内容に対して、新たな学びがあるような指導をしていきたい。

(3) その他

①付箋の活用について

小グループで話し合った際に「人間」「地球」「宇宙」の三つの視点を基に、それぞれ色分けした付箋に感じたことを書き込む活動を取り入れた。そのメリットは以下の点である。

1点目は、自分の思考がまとめやすくする点である。自分が次々と思いつかべたイメージを直観的に付箋に書き込んだ後に1枚のシートに張り付けることで、三つの視点をまとめやすくなる。

2点目は、視覚的な効果がある点である。色分けし、それぞれの場所に付箋を張り付けることで視覚的にも分かりやすく、自分と他者の両者どちらにとっても分かりやすくなる。

3点目は、他者の考えにすぐ気付くことができる点である。他者を理解していく上で、自分が気付いていなかった視点が分かりやすく目に付くことにより、新たな学びの視座を得ることができる。

ホワイトボードにまとめる活動は、時として、グループ内での合意形成の場となってしまうことがある。本時では、直観的に感じたことを自分とグループ内の他者が共有しやすくすることをねらって実践した。

②配慮事項について

本時のねらいとする道徳的価値である「感動・畏敬の念」について深く考えた時、生徒は自然災害等の猛威や恐ろしさを改めて想起する場合がある。それは、有限な人間の力を超えたものとして、生命の尊さ、生きることの素晴らしさの自覚にもつながると考える。しかし、近年の台風や地震等、自分自身や親族などが被災していることも考え、画像や映像の取扱いには十分に配慮する必要がある。また、生徒の発言から、怖い、恐怖といった印象のみにならないように気を配る必要がある。